

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	03	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	01	未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	05	学校給食
事務事業名		04	給食施設整備事業
		根拠法令・規程等	学校給食法、同施行令
		問 担当課(室)	教育総務課施設係
		合 職・氏名	係長 入江章行
		先 電話	0869-64-1802
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市立学校給食調理場(市立共同調理場を含む)
目 的 (何のために)	安全な学校給食を提供できる衛生的で清潔、快適な共同調理場、単独調理場の整備
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安全で安心できる清潔で衛生的、快適な給食施設の整備

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	給食施設整備事業	学校給食施設の改修、設備機器の更新などの整備事業	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	3,302	5,935	6,727
	必要人員(人件費)	千円	0.00人	0	107
財源	事業費計	千円	3,302	6,127	6,834
	国県支出金	千円			3,066
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	3,302	6,127	3,768
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	事業	4	4	4
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	0	5,934,705	6,726,869
	単位当たりコスト	円	0	1,483,676	1,681,717

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
共同調理場一施設当たりの整備事業費	目標値(A)	0	0	-	-
	実績値(B)	0	1483676	1681717	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#VALUE!	-
成果指標設定の考え方・式や説明					
共同調理場の整備事業について、調理場一施設当たりの金額を指標とする。 共同調理場整備事業費÷共同調理場数					

事務事業の評価			
市民ニーズ	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> B

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	備前中学校、伊里共同調理場の統廃合に係る整備を行う。					

総合評価	
厳しい財政状況の中で、統廃合による調理場整備計画に基づく整備を予定しているが、老朽化が著しい施設もあり、計画に基づく整備事業の実施を急ぐ必要がある。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	調理場の統廃合事業はない予定で、既存施設の整備を実施する。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値目標を達成するための成果指標

